

令和5年度高齢者生きがづくり・生活支援活動人材育成等事業 マッチング研修会 実施報告（HP版）

高齢社会の生きがづくりや地域の支え合い活動を広げるため、地域福祉関係者が地域でつながりをつくるための技術や手法、心構え等を講義や事例紹介、グループワーク等で実践的に学ぶ研修会を開催！

1日目は、地域福祉関係者が地域の方々と打ち解けて仲良くなるためのアイスブレイクを多数紹介、地域でつながりをつくるためのポイントや地域福祉をやさしく伝える方法等の講義の他、地域福祉関係者が日々感じている課題や悩みにこたえるケーススタディ等を行い、終了しました。2日目は、高齢者への声かけやアプローチの際の心構えや技術についての講義や、人とつながれる場や周囲の人財についてのアイデア出し、生活支援コーディネーターが住民との会話から問題点をつかみ取る練習としてロールプレイゲーム、模擬マッチング事業等、実践的かつ体験的に学ぶ、大変有意義な研修となりました！

日時：12月7日（木）10時～16時

12月8日（金）10時～15時半

会場：遊学館（山形市内）

参加者：19名

講師：

廣瀬隆人氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

小川真実氏（合同会社望見若者の居場所こころいき相談員）

協力：NPO法人ふれあい天童・逢いの蔵・どんぐりの木

***** 参加者VOICE *****

- ・今までの研修にない、建前ではない、本音の地域福祉のお話を聞くことができました。
- ・大変わかりやすい内容で参考になることばかりでした。
- ・人の心をつかむ大切さ。それからでないと、人は動かないのですね。
- ・研修内容はもちろん、先生方や他の参加者とつながることができたことも一番の収穫です！
- ・地域づくりの考え方を改めさせられました。業務にもいかせるヒントもたくさんありました。
- ・悩んでいた事がクリアになりました。パワフルな活動の話もたくさん聞いて元気ができました。
- ・初対面の方々と仲良くなれたのは初経験、廣瀬先生のアイスブレイクのおかげだと思います。
- ・わかりやすかった。専門職目線じゃなく、住民目線で考えていきたい。
- ・明日からの自分のやるべきことが見えてきました。※この事業は県の委託を受け実施しました。

